

令和8年度 子ども施設職員向け感染症研修

PPEの着脱方法と 正しい嘔吐物処理

— 予防が鍵！子どもたちの健康と安全を守るために —

令和8年10月16日（金） 八尾商工会議所 3階 大ホール / Zoom

八尾市立病院

40分

14:50 — 15:30

講義・デモ **20分**

体験 PPE着脱 **15分**

まとめ **5分**

1

この40分で持ち帰っていただくこと

途中から参加された方も、ここだけ押さえれば大丈夫です

1

**PPEを
正しく外せる**

感染の大半は
「外すとき」に起きます

2

**消毒液を
自分で作れる**

アルコールは効きません
塩素系漂白剤を希釈

3

**嘔吐物処理の
流れが分かる**

6ステップ
乾かさない・広げない

この3つは、明日から施設でそのまま使えます。

2

処理した人が、次の運び屋になる

1限目の感染症の話を、現場の「動き」に落とすと…

嘔吐

床・衣類・
おもちゃが汚染

処理

手袋なし／
服に付着

拡散

そのまま
他児に接触

集団発生

子ども・職員へ
次々と

吐物 1g

100万～10億個のウイルス

感染成立

わずか 10～100個

乾燥後

舞い上がって空気中に拡散

この鎖を切る道具が「PPE」と「正しい嘔吐物処理」の2つ

3 PPE — 使うのはこの4点

特別なものは要りません。施設に置けるものだけ

1

使い捨て手袋

ニトリルなど
※必ず2重にする

2

使い捨て エプロン

袖なしでOK
衣服の汚染を防ぐ

3

マスク

不織布マスク
吸い込みを防ぐ

4

+ 必要時

ゴーグル等
飛び散りが激しい時

手袋は必ず2重に。

外側が汚れたら、処理の途中でも外側だけ捨てて交換できます。

4

着ける順番

きれいなものを、きれいなうちに

1

手指衛生

石けん＋流水、または手指消毒

2

エプロン

首→腰の順にしっかり結ぶ

3

マスク

鼻のワイヤーを合わせ、隙間をなくす

4

ゴーグル

必要時のみ

5

手袋

最後に装着、二重に装着。

覚え方：「手を洗って → 体 → 顔 → 手」

5 外す順番 — ここが一番大事

感染の大半は「外すとき」に起きます。汚染面には触れない

1 外側の手袋

吐物を集め終わったら、その場で裏返して外す
→ 内側の手袋のまま、消毒・拭き取りまで処理を完了

2 内側の手袋

処理終了後、裏返して外す

3 エプロン

首ひもをちぎる → 汚染面を内側に丸め込む

4 ゴーグル

つるを持って外す（前面は汚染部）

5 マスク

ひもだけを持って外す → 手指衛生

原則：汚れているのは「外側・前面」。触っていいのは「内側・ひも」だけ

6

ありがちな失敗

「やったつもり」で終わらないために

手袋のままドアノブ・スマホ

×

汚染した手袋であちこち触ると、施設中にウイルスを塗り広げる。
処理場所から出ない。

マスクの前面をつまんで外す

×

前面はウイルスの付着面。指が汚染 → その手で顔を触る。
必ずひもを持つ。

外したあと手を洗わない

×

アルコールだけでは不十分。ノロには「石けん＋流水」で物理的に洗い流す。

この3つを避けるだけで、二次感染はぐっと減ります

7

嘔吐物処理キット — 中身はこれだけ

各保育室・各フロアに1セット。取りに行く時間が命取りになります

✓ PPE一式

手袋（多め）
エプロン・マスク

✓ ペーパータオル

or 新聞紙
ペットシート

✓ 塩素系漂白剤

ハイター、ブリーチ等

✓ ペットボトル

希釈液を作るため

✓ ビニール袋

二重に。
中身ごと密閉して廃棄

✓ 手順書

誰でも読み上げられる
ように

置き場所を全職員が言えること。「どこだっけ？」の3分間に、ウイルスは乾いて舞い上がります。

8 消毒液の作り方

アルコールは効きません。使うのは「塩素系漂白剤」

使う製品：花王「ハイター」「キッチンハイター」など
(次亜塩素酸ナトリウム 濃度約5～6%)

0.1% (1000ppm)

嘔吐物・便・汚染された床や衣類に

**500mL ペットボトル1本の水
+ 原液 キャップ2杯 (約10mL)**

0.02% (200ppm)

ドアノブ・手すり・おもちゃ・トイレに

**2L ペットボトル1本の水
+ 原液 キャップ2杯 (約10mL)**



使うたびに作る

作り置き不可。当日つくって当日捨てる



金属・色物に注意

金属はさびる。衣類は色落ちします



換気しながら

原液は目や皮膚に触れないように



誤飲防止

「消毒液」と表示。子どもの手の届かない所へ

※ 施設で使用する製品のラベルの濃度をご確認ください。製品により希釈量は変わります。

9 嘔吐物処理の6ステップ

とにかく「乾かさない・広げない」

1 人を遠ざける

他児をすぐ別室へ。
窓を開けて換気。

2 PPEを着ける

手袋2重・エプロン・マスク
。取りに戻らない。

3 覆う

ペーパーで覆い、0.1%液
を静かにかける。

4 外側から内側へ

そっと拭き取る。
広げない。

5 広く消毒

半径2mを0.1%液で
10分後に水拭き。

6 脱ぐ・捨てる ・洗う

袋を二重に密閉 → PPEを
外す → 石けんと流水。

覚え方：「人を離す → 身を守る → 覆う → 拭く → 消毒 → 手を洗う」

10 子ども施設ならではの3つのポイント

病院と違うのは「まわりに子どもがいる」こと

1 役割は2人1組

1人が処理、もう1人が他児の誘導。1人で全部やろうとすると必ず抜けが出ます。「誰が処理役か」を事前に決めておく。

2 子どもの服・手・髪

汚染した衣類はビニール袋へ（施設で洗わない・持ち帰り時は密閉して説明を添える）
子どもの手はすぐ石けんと流水で。

3 おもちゃ・絵本

触れた可能性のあるものは0.02%液で拭く。布のおもちゃは洗濯（85℃1分の熱水消毒ができれば理想）

「もう1人呼ぶ」を最初の一声に。処理者は現場から動かない。

体 験

PPEを着て、脱いでみる

前方デモを見た直後に、その場で手を動かします

対面の方

PPE着脱、ブラックライトを用いて汚染の程度を確認。

手 順

着る：手指衛生→エプロン→マスク→手袋（2重）

脱ぐ：外手袋→内手袋→エプロン→マスク→手指衛生

WEB の方

手袋だけでも実際に着脱してみてください

持ち帰っていただく3つ

1

アルコールでは
効かない

ノ口には塩素系漂白剤。
手は石けん＋流水で洗い流す

2

危ないのは
「外すとき」

汚染面に触れない。
外したら、すぐ手を洗う。
。

3

1人でやらない

処理役と誘導役の2人1組。
キットの場所を全員が言えるように。

施設に戻ったら、まず「キットの置き場所」をきめてください。

このあと3限目は意見交換です。今日の疑問をぜひそこで。